

かみまち

社協だより

第49号
2013年9月



東京から『笑顔』がやってきた！

中新田地区一人暮らし高齢者の集い (関連記事は4ページに掲載)



編集と発行

社会福祉法人 加美町社会福祉協議会

加美郡加美町字町裏320 電話 (0229)63-2547 URL <http://www.shakyo.or.jp/hp/288/>

夏・福祉体験ワークキャンプ

7月25日から1泊2日の日程で、町内の中学生を対象とした、『夏・福祉体験ワークキャンプ』を、小野田福祉センターを主会場に開催しました。これは、ボランティア体験学習を通じ、福祉に対する理解を深め、地域活動を行う青少年の育成を図ることを目的に、社会福祉協議会の主催で毎年行っているものです。今回は町内3つの中学校から、16名の中学生が参加しました。



「えっ？なんて伝えたいんだろう…??」
声を出せない「音のない世界」に大苦戦！



▲ただいま手話のレッスン中！はじめに自分の名前や住んでいる地区の表現を学びました▼



平成25年度 体験学習メニュー

【1日目】◎キャップハンディ学習

- ・聴覚障害体験
- ◎ボランティア団体との交流
- ・手話体験
- ◎配食サービス体験

【2日目】◎施設ボランティア体験

- ・通所介護事業所
- ・障害者自立支援施設

1日目はキャップハンディ学習として、聴覚障害体験や手話体験を行いました。午前中に行った聴覚障害体験では、二人一組になってお互い紙に書かれた内容を、相手に一切言葉を発せず伝えあう、「音のない世界」を体験しました。

午後からは、主に町内中新田地区で活動されている「手話サークルたんぽぽ」の皆さんをお招きし、交流会を行いました。手話サークルたんぽぽの皆さんは、毎月定期的に手話の勉強会を行って研鑽を重ねながら、地域内の学校等に出向いて、子供たちに手話を教えるなどのボランティア活動も行われています。今回は実際に手話を教わって一人一人自己紹介を行い、手話を用いた合唱（手話ソング）にも挑戦しました。



手話ソングはZARDの名曲
「負けないで」に挑戦！
難しかったけれど、楽しく歌えました♪

その後は3地区に分かれ、班ごとに配食サービスの配達ボランティアを体験し、1日目の活動を終わりました。

2日目は施設でのボランティア体験として、班ごとにデイサービスや障害者施設に分かれて活動しました。その後、再び小野田福祉センターに戻り、2日間の活動を振り返って、一人ずつ感想を発表しました。

参加した生徒の皆さんからは、「障害がある方は決して特別な存在などではなく、人一倍思いやりがあり、努力している」「障害がある人も、デイサービスを利用している方も、私たちに優しい表情を向けてくれた。とても嬉しくて忘れられません」といった声が寄せられました。ご参加いただいた生徒の皆さん、今年もありがとうございました！



配食サービスボランティア体験
「ありがとう」の言葉が嬉しかった♪



クローバーハウスでは、
利用者の皆さんのお仕事をお手伝いしました。



デイサービスにてボランティア活動中！
めんこい孫たちに囲まれて、
利用者さんの表情も緩みます♪



▲最後に記念撮影！今年も楽しい2日間でした♪

2日間の体験を振り返って ～参加者の感想から～

- ★障害者は「かわいそう」という目で見えなかったが、今回参加して「人一倍思いやりがあり、努力している人」と見えるようになった。(小野田中学校・2年)
- ★初めは障害がある方に対して抵抗があったが、今回の2日間を通じて「優しい人が多く、自立するために頑張っている」というようにイメージが変わりました。(小野田中学校・3年)
- ★高校の福祉系のコースで勉強して、介護の資格を取りたいと思った。(中新田中学校・3年)
- ★2年間ワークキャンプに参加して、将来は福祉関係の仕事に就きたいなあ、と改めて感じました。(小野田中学校・3年)
- ★将来のために役立つと思うので、機会があれば高校に進学しても積極的にボランティア活動に参加していきたいと思いました。(小野田中学校・3年)
- ★2日間を通じて、それぞれの体験先で利用者さんが自分たちに向けてくれた、優しい表情がとても嬉しくて、忘れられないものになりました。(小野田中学校・3年)

中新田地区一人暮らし高齢者の集い

～ 大道芸がやってきた!! ～

8月2日、今年度2回目となる中新田地区一人暮らし高齢者の集いが、中新田福祉センターを会場に開催されました。

今回は、東京都内で活躍されている大道芸人の団体「ヘブンアーティスト」のみなさんにお越しいただき、数々の大道芸を披露していただきました。これは東京都の事業の一環で、芸術文化を活用した被災地支援事業として岩手、宮城、福島の3県を対象に行われているものです。



▲即興で新コンビ誕生!?

東京都公認のアーティストとあって、繰り広げられる技の数々は見事なものばかり！愉快的なマジックや、中国雑技芸術団等による思わず息をのむような曲芸だけでなく、紙芝居やちんどん屋さんも登場し、どこか懐かしさも感じられた、あっという間の2時間でした。

夏休み中の小・中学生や、近隣住民の皆さんも集まって、当日はおよそ200名の皆さんが観賞され、多くの地域の皆さんと交流できた、楽しい1日となりました。



▲大迫力の中国雑技芸術団。その高さに圧倒されました！



▲紙芝居後には懐かしいお菓子が。思わず童心に戻ります。



▲間近での演技に大興奮！



▲皆さん大満足のこの笑顔♪



▲「えっ!?なんで??」お母さんたちも不思議なマジックにビックリ!



▲未来のスター修行中!?

おしどり会 (小野田地区二人暮らし高齢者の集い)

7月8日、小野田福祉センターを会場に、小野田地区在住の二人暮らし高齢者の皆さんを対象とした交流会（おしどり会）が開催されました。

今年度1回目となるおしどり会は、加美町体育施設等指定管理者である、(株)オーエンスから講師をお招きし、健康運動についてご指導いただきました。ジャンケンを取り入れた運動をはじめ、ボールや手ぬぐいを使った様々な運動に、皆さんとてもリフレッシュ♪

運動終了後はお楽しみの、食生活改善推進員の皆さんが作る手作りの昼食です。今回のメニューは『冷やしうどん』。参加された方々が、暑い夏を無事乗り切れるように、との思いを込めて作っていただきました。そのおいしさと心使いに皆さんとても満足された様子でした。



▲足の先に引っ掛けた手ぬぐいを、落とさないよう隣へ渡していきます

おらほのミニデイ ~介護予防シニア元気塾より~

介護予防シニア元気塾とは、各行政区で行っている事業（主にミニデイサービス）の場をお借りして、レクリエーション等を実施することにより、高齢者の介護予防の推進を図ることを目的とした出前講座です。

今回は宮崎地区の行政区で行われたミニデイの様子をご紹介します。



7/21 上小路一行政区
「ジャンケンポン!」「勝ったど!」
「ほれ、はだげっ!」
爆弾ゲームで大爆笑!!



7/27 西川北行政区
名付けて「指キャッチゲーム♪」
「指、もげる!」とみんなで大笑い!



7/30 赤坂原行政区
ポケットボール個人戦!
さあ、優勝は誰?

大切にに使わせていただきます!

加美商工会女性部から物品寄贈

7月31日、加美商工会女性部（齋藤せい子部長）より、今年も中新田・小野田・宮崎福祉サービスセンターにそれぞれタオルやおしぼり、石鹸、洗剤、手ぬぐいほか、多数の物品をご寄贈いただきました。

これらの物品はデイサービスやヘルパーステーション、訪問入浴、障害者施設等で活用させていただきます。ありがとうございました。



▲中新田福祉サービスセンターには副部長の星洋子さんが来所され、ご寄贈いただきました。

生活相談所開設

日常生活で心配ごと、困りごとはありませんか？お気軽にご相談ください。

★時間：午前10時～午後3時

★場所：中新田福祉センター分室2F相談室

開設日	相談員	
9月19日	三浦 久子	伊藤 良博
10月17日	村山 亮子	今野 攻
11月21日	工藤わか子	大崎 吉男

上記の他にも随時相談を受け付けておりますので、お気軽にご連絡ください。

平成25年度金婚を祝う会

～自主申告をお忘れなく～

今年度も加美町社会福祉協議会主催の『金婚を祝う会』を、下記の日程で開催する予定です。

該当者の把握については、個人情報保護の観点から、皆様の申告によるものとし、同意の上で戸籍確認をいたします。

該当すると思われるご夫妻は、各地区社協窓口にて申込書をお受け取りになり、必要事項をご記入の上お申込下さい。(なお、申請時には印鑑をご持参ください)

1. 開催予定日 11月22日(金)
2. 会場 サンパレスマルト
3. 該当者
昭和38年1月1日から同年12月31日まで
に婚姻届出(入籍)されたご夫妻
4. 申込締切日 9月20日(金)
5. 申込先
中新田福祉サービスセンター
(☎63-2547)
小野田福祉サービスセンター
(☎67-7177)
宮崎福祉サービスセンター
(☎68-2105)

温かい善意ありがとうございます

(平成25年6月11日～平成25年8月6日)

- ★匿名様 1,000円
- ★(株)大崎タイムス福祉部(福祉寄金)様 100,000円
- ★中島勉校長先生を偲ぶ会様 20,000円

福祉まつり

～えがお心ふれあいフェスタ～

日時：平成25年10月6日(日)
午前10時～午後3時

場所：小野田福祉センター

今年の福祉まつりは、講師に藤原秋子先生をお招きして、愉快的講演会を開催いたします。藤原先生は宮城県出身で、仙台放送や新聞各社等で記者を務められ、現在は日本笑い学会会員の講師として「笑いの花咲か講師」の異名を持ち、全国でご活躍されております。

また、各種模擬店や町内福祉施設の皆さんによる授産品の展示販売、福祉団体コーナーなどに加え、今年も楽しいもちつき体験や豪華(!?)抽選会と盛りだくさん!

みなさんお誘いあわせの上、ふるってお越しください♪お待ちしております!!



特例緊急小口資金を利用されている皆さんへ

返済期限のお知らせ

東日本大震災により被災された方々を対象に、宮城県社協が貸付を行いました『生活福祉資金特例緊急小口資金』(一口10万円もしくは20万円)について、多くの方の最終返済期限が平成26年5月末日までとなっております。

返済期限を過ぎますと、延滞利が発生しますので、必ず期限内までに返済されますようお願いいたします。

ご協力ありがとうございます

物品寄付

- ★荒井くにかみ様(上区)…福祉用品、衣類
- ★浅野会館様(並柳)……タオル
- ★伊藤 勝支様(並柳)…タオル、毛布
- ★和光流佳穂会様……ドライシャンプー、生花
⇒中新田デイサービスセンターへ
- ★加美商工会女性部様……タオル、石鹸、洗剤
- ★小山 正志様(小泉)…タオル、おしぼり
⇒宮崎デイサービスセンターへ